

☆みどり岡山 市民自治講座「18 歳選挙権と市民教育」

講師に田中治彦さん（上智大学教授）をお招きして、6月21日に行いました。田中さんは、18歳選挙権を長年主張されていて、昨年は衆議院の憲法審査会の参考人として意見を述べられています。

世界では9割以上の国が18歳以下の選挙権をもちます。18歳は高校3年生年齢なので、自分の馴染みがある地域の投票所に行けるし、クラスの友達同士でも話がしやすく、投票へのハードルが低くなります。最初の投票行動がその後の習慣になるというドイツでの調査があるそうです。

自分が動けば地域・暮らし・社会が変わるという「効力感」のある市民教育が必要ですとも話されました。学校教育も大切ですが、私自身もわかりやすい言葉や方法で子どもたちに伝えていく努力が必要だと感じました。



☆最高裁で、御津虎倉産業廃棄物処理施設の差止め決定

住民側が高裁で勝ち取った「産廃処分場建設差止め判決」を不服として産廃業者が上告をしていましたが、7月14日に最高裁が却下しました。建設差し止めの決定です。

建設計画が浮上してから14年。地元の皆さんの粘り強い闘いの賜物で、会心の勝利です。嬉しくてたまりません。岡山市民の飲料水の安全にも関わることです。水源に作ってはいけません。地元の皆さんに感謝しています。

こんなスポット ◆ 新岡山市立市民病院

新岡山市立市民病院が5月7日にJR北長瀬駅前にオープンしました。病院としては、ER（救急外来）と保健・医療・福祉の連携が重点ですが、私は、市民のセーフティネット、そして、女性が暴力を受けたときにスムーズに受け入れることができる病院にという想いがあります。

7月8日に女性議員で視察にいき、性暴力被害を受けた女性をどのように受け入れるのか、院内保育所などを視察しました。よりよい病院にみんなで行ってほしいです



編集後記 ★議会ごと横田さんと私がインタビューを受けながら県政・市政について解説し、YouTubeにアップする「めざせ！傍聴の達人」をスタートします。★はじめの収録が7月8日にありドキドキしました。時間がなくて撮り直しをせずに反省が多々ありますが、がんばります。



のぞみ誌から

入園&入学式と運動会

4月は入園&入学式。ピカピカの子どもたちの表情が大好きで、毎年、参列を楽しみにしています。そして初夏には運動会。短期間にすっかり成長していつும்びっくりします。さすがに中学生のリレーは迫力がありますね。

原発どうする会議

脱原発をめざす仏教者ネットワーク岡山主催で、「原発どうする会議〜岡山は、原発をどう考え、どうすべきか？〜」が5月20日に行なわれました。自民党・公明党・民主党・共産党・みどり岡山（私）から、県議・市議が参加しました。どうしたら課題認識の共有ができるのか。岡山に引き寄せて考える場となりました。



女性議員と語る「岡山の今と未来」

DVサポートシステムをつなぐ会岡山の総会が6月7日にあり、記念行事としてもたれました。県内の市町村県議会の女性議員が24人集まりました。女性議員を増やすためにはどうしたら？と話つきません。岡山市議会にこのくらいの女性議員がいたら、とても力強いですね。



「火葬場問題を考える会」が岡山市を提訴した訴訟の口頭弁論が行なわれました

岡山市北区富吉に建設予定の新斎場。予定地である産業廃棄物処分場跡地を宅地として評価し、高額で購入したことに対する損害賠償義務づけ訴訟です。5月12日初回、7月7日第2回口頭弁論があり傍聴をしました。岡山市は民主的な決定の仕方をしていません。第3回は8月25日です。



岡山県学童保育連絡協議会研修会「国の担当者に聞いてみよう」

この4月からスタートした「子ども・子育て支援新制度」。放課後児童クラブについての制度や予算付けはどう変わったのか。6月20日に、厚生労働省の担当者から詳しく話を聞きました。国が制度設計をしても、自治体が動かないと生かされません。関係者の参加は多かったです。

岡山市議会議員

会派：市民ネット

No.33

2015年6月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2015年7月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-242-5244 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
Email:hopequal@po7.oninet.ne.jp http://yaplog.jp/niji_oni/



戦後70年。平和をまもる正念場の夏 声をあげて、安保法案を廃案へ

廃案へ。ぜったいにあきらめない

「だれの子どももころさせない」と“安保法案に反対するママの会”が全国に広がっています。SEALDs（自由と民主主義のための学生緊急行動）の10～20代の若者のうねりが大きく巻き起こっています。「友達に、恋人に家族に、仕事仲間に、伝えることが、どれだけ勇気がいるでしょう…。それでも、声をあげられなくなった時の方が、もっと怖いです」と。

岡山でも市民の行動が続いています。「小さな声をあげよう」という市民の緊急アクションに参加しましたが、子ども連れのお母さんなど、はじめて人前で話すという声が続き、未来への希望を感じました。シール投票では、84%の方が強行採決に反対と回答しました。

10万人以上が国会を囲むなか、7月15日の衆議院委員会では怒号のなかで、16日の本会議では野党退席のなかで安保法案が可決・参院に送られました。共同通信の緊急調査（7.17～18）によると、法案そのものに反対が61.5%と賛成の27.5%を大きく上回るなど、すべての世論調査で、法案は憲法違反であり反対との



声が増え続けています。民意を知っているが故の強行採決を許すことができません。

皆さんの周りの議員に「問うてください」

安保法案や集団的自衛権の行使容認に反対する（廃案要求を含む）、もしくは慎重な審議を求める意見書が393の県・市区町村議会で可決されています（全国自治体数は1788）。

岡山市議会へも廃案を求める意見書提出への陳情が出されましたが、自民党・無所属の会、公明党、創政会（不採択4、採択2）他の反対多数で不採択となり、本当に悔しいです。私は採択すべきと討論を行いました。「鬼木さん、怒りに声が震えていた」と言われました。

先の共同通信の調査では、政権への支持率37.7%、不支持率57.6%と逆転しました。さらに支持率を下げ、法案を廃案にしたい。

すべての生命を守るために政治があります。自衛隊員に銃を撃たせてはなりません。国・地方を問わず、皆さんが票を投じた議員に問うてください。「これだけの反対のなか、法案に賛成できますか」と。この夏は平和と民主主義の正念場です。

おにき・のぞみ



6月議会 個人質問から

質問項目

1. 自転車政策について
2. 市民協働について
3. マイナンバー制度について



3期目を迎えて、はじめての議会。「市民の力で元気なまちに」がモットーの私としては、市民協働条例の改正作業が市民協働で進み、場に続いて仕組みができることを喜んでいます。☆市長は今年度中に街づくりの基本である新たな総合計画を策定します。街づくりのあり方が大きく問われている時、初心を大切に皆さんとともに歩みます。

子どもたちに自転車“免許、発行へ

私が暮らしている京山地区は、大学が多く高校もあり、自転車の交通量が多い地域です。かねてより“自転車”は地域課題でしたが、この度、京山地区ESD推進協議会により、「やさしく走ろう 京山」プレートが作成されました。



6月1日から、危険行為を繰り返す自転車の運転者に安全講習の受講を義務づける自転車運転者講習制度が施行されました。

2014年、岡山市内の自転車事故による負傷者は1107人（小61人、中102人、高164人）。計5人の死者中、高校生が1人です。

Q：自転車の交通ルールを守るよう、子どもたちへの意識づけに免許証発行を。

市民生活局長：モデル校を選定し、交通講習を受講した小学生への免許証を発行予定です。関係機関と協議していきたい。

Q：外国人にも、交通規則や保険についての理解を進めるべきではないですか。

市民生活局長：多言語生活情報紙「あくら」7月号で掲載予定です。区役所窓口で渡す情報パックの活用などを検討したい。



自転車による死傷者数が多いという私の指摘を受け、市は今年度、調査をします。☆自転車保険などの質問をしましたが、前向きな答弁にはなりませんでした。



※男女共同参画を推進している事業所を岡山市長が認証する「岡山市女性が輝く男女共同参画推進事業所」の認証制度がスタート。7月現在、5事業所が岡山市HPで公表中です。公契約上の配慮をとり組んできましたので実現して嬉しいです。

ESD 市民協働推進センター

「ESD 市民協働推進センター」は昨年6月にスタートし、今年度から体制も内容もバージョンアップしました。岡山NPOセンターに委託をしての運営です。

Q：センターを中心に、協働の場をどのように広げようとしているのですか。

大森市長：センターは理念だけでなく、大いに機能している。人作り、協働の仕組み作り、地域作りを支援し、ESDと市民協働の推進力の役割を果たしたい。

Q：今年度の新たな取り組みは。一般施策のなかで市民協働事業としてできるものはないのでしょうか。

市民協働局長：区づくり推進事業活動部門の活用で、課題解決型の地域活動を広げ、公民館と連携しながら地域活動を支援する仕組みを作りたい（他にもいろいろ）。昨年度のモデル事業から一般施策化したものがあります。一般施策においても見直すことが必要であり、そのための研修や体制づくりを検討したい。



「岡山市の協働条例を考える」市民協働フォーラム。私も参加（2015.4.25）



条例には行動計画策定や実行力ある推進委員会の設置など仕組みが根付いていくものが必要です。

大丈夫？マイナンバー制度

来年1月に、日本に住むすべての人に12桁の番号を割り当て、国や自治体の個人情報をつなぐマイナンバー制度が始まります。この10月には、住民票の住所地に個人番号が通知され、法人にもマイナンバー制度への対応が求められます。私には準備や広報が順調に行われているとは思えません。

全国企業調査（4月）では、8割の企業が手付かず状態。中小企業家同友会全国協議会（44,000会員）は、負担軽減と制度施行延期を求める意見書などを求める意見書を6月に出しています。

6月1日には基礎年金番号が125万件流出しました。マイナンバーに紐付けられる予定のものです。情報漏えいやプライバシー保護、管理強化の観点から、私はこの制度に賛同できません。元々は社会保障、税、災害対策分野での利用のみでしたが、制度施行前に、銀行貯金、予防接種、メタボリック症候群健診にも拡大をと国会審議中です。

導入にあたっては、情報漏えいに対して厳格な仕組みや体制、職員への研修が必要であり、DV被害者などへの配慮を徹底すべきです。

核廃棄物最終処分場は「受け入れない」

政府は高レベル放射性廃棄物の最終処分地について、国が主導して選定する方針に転換し、5月下旬に閣議決定をしました。

県内の住民運動団体は、かねてより岡山市長から、「放射性廃棄物の処分に関し、岡山市では“住民に不安を与えるような施設は受け入れない”という岡山県の方針に従い対応してまいります」という回答を得ており、6月議会でも、「この考え方に変わらない」との答弁でした。長年の運動の成果です。

4園で公立の認定こども園がスタートしました これから全市に整備される予定です

今年度から子ども・子育て支援新制度がスタートしました。岡山市ではこの4月に公立の幼保連携型認定こども園が4園（灘崎・御津・中山・太伯）、来年度には1園（岡南）で始まります。市は市内を30の教育・保育提供区域にわけ、公立認定こども園に移行する園を基本的に一つずつ候補としてあげ、それを元に地域での話し合いをしながら、整備を進める予定です。例えば、私が暮らす津島の提供区域は北1（伊島・津島小学校区）で、伊島幼稚園が候補園です。

認定こども園は、幼稚園と保育園が一体になるイメージで、①子どもに幼児教育と保育を提供する、②地域における子育て支援を行う、としています。1号（満3歳以上。給食有）が従来の幼稚園児、2号（満3歳以上）3号（満3歳未満）が従来の保育園児です。3歳から5歳児は1号と2号が同じ組になりますが、登園降園時間は異なり、給食後は帰宅準備、お昼寝準備をする子どもに分かれます。

中山認定こども園を訪問

夏休みに入って中山認定こども園を訪問。ここは保育園と幼稚園が隣接していた園で、両園を廊下でつなぎました。幼稚園の余裕教室が活用され、保育園の子どもに空間と時間の余裕が生まれているように感じます。また1号（幼稚園）では、3歳児を受け入れ、預かり保育（16時まで）が行われています。

朝の検診、給食、会議、参観日など、検討していても実際行うと課題があり、試行錯誤の連続だとのこと（保護者の声をお聞きしたいです）。訪問時は1号の子どもは夏休み中でしたので、ゆったりした雰囲気でした。職員の研修に当てたいとのこと。

人員配置が鍵、待機児・保留児の解消を

余裕教室があっても人員配置がなければ受入児童数を増やすことはできません。また、良質な教育・保育のためには研修や会議などの時間が必要です。私は人員配置が大きな鍵だと思います。また、認定こ



中山認定こども園。左が元保育園、右が元幼稚園間が新たに作られた廊下と職員室

ども園には保育教諭として配置されていますが、保育士と幼稚園教諭の処遇については統一できておらず、課題は山積です。

また、認定こども園整備の目的に保留児解消に寄与ともありました。1号の3歳児受入はありますが、保育園児童受入の増加に必ずしもつながっていないのが実情です。

この4月時点で保育園に入れなかった子どもは938人います。岡山市は2016年度オープンを見込んでの保育園整備（425人の定員増）や、今年度も保育園募集（500人程度）をしています。また、小規模保育事業A型（3歳未満児）や事業所内保育所の募集を新たに行います。保育園整備で、待機児・保留児解消に力を注ぐべきです。

市民説明会が開かれます

岡山市は認定こども園以外の園については、原則として民営化や統廃合の対象としています。岡山市が候補にしている園以外でも認定こども園を希望する声もあり、民営化や統廃合も含め地域での話し合いのなかで決めていくことになります。

岡山市では新制度、公的施設の配置計画についての市民説明会を8月に6箇所で行います（下表）。今回は個別状況ではなく概要説明ということです。ご参加をされ、ご質問やご意見をいただきたいです。お問合せは、岡山市こども園推進課（086-803-1430）まで。

日付	時間	場所
8月6日	18：30～20：00	南ふれあいセンター
8月8日	18：30～20：00	西ふれあいセンター
8月10日	18：30～20：00	岡山市役所本庁舎
8月20日	18：30～20：00	岡山ふれあいセンター
8月23日	10：00～11：30	岡山県生涯学習センター
8月29日	18：30～20：00	西大寺ふれあいセンター